

環境教育掲示用教材 指導資料

環境教育掲示用教材は、児童・生徒に地球環境保全に関する必要な知識を与え、3 Rをはじめとする地球環境に配慮した行動の大切さを理解させ、その実践を促すことを目的として作成した教材です。
本指導資料では、学校の授業等で活用できるよう、環境教育掲示用教材を活用した活用例等を紹介します。

環境教育掲示用教材の活用例

環境問題について調べて、自分にできることを実行しよう。
日本の再生可能エネルギー、未来への可能性

環境を学ぼう

う、私たちが住む地球には、いろいろな環境問題が起きています。

日本の再生可能エネルギー、未来への可能性

日本のエネルギー自給率は、わずか4%です。

再生可能エネルギーには、どのような特長があるのだろうか？

これから期待される水素エネルギー

水素エネルギーに関する東京都の取組

エネルギーを大切にするために、自分にできることを考えてみよう。

環境問題について調べて、自分にできることを実行しよう。
日本の再生可能エネルギー、未来への可能性

年 組 名前

① 日本のエネルギー自給率について調べてみよう。

② 再生可能エネルギーの特長について考えてみよう。

③ 自分にできる取組を考えよう。

環境学習の視点

自分たちの日々の生活や行動が地球環境保全につながることに理解し、環境に配慮した生活を心掛けていこうとする態度を育てる。

ねらい

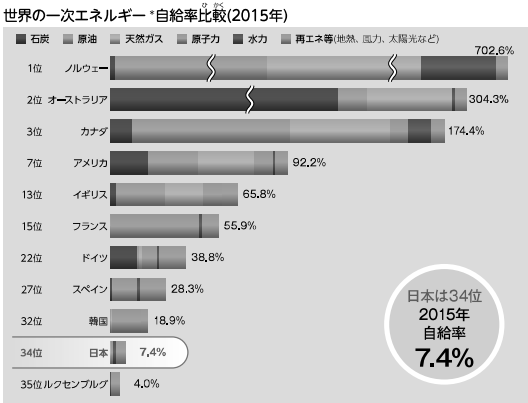
再生可能エネルギーや水素エネルギーの特長について理解するとともに、地球温暖化を防ぐために、自分にできる取組を考え、実践する。

活動内容（○主な活動）	教師の支援（◇留意点）	◆掲示用教材等との関連
○掲示用教材①、②を見て、日本のエネルギー自給率や化石燃料に頼らない新しいエネルギーについて話し合う。 再生可能エネルギーや水素エネルギーの特長を知るとともに、地球温暖化を防ぐために、自分にできることを考えよう。	◇グラフを見て、日本のエネルギー自給率が主要国に比べて著しく低く、エネルギーのほとんどが輸入にされていることに気付かせる。	◆掲示用教材①、② ◆ワークシート①
○掲示用教材③を基に、再生可能エネルギーの特長について、個人やグループで調べるとともに、学級全体で話し合う。	◇イラストを基に、豊かな自然を利用した再生可能エネルギーの特長について考えさせる。	◆掲示用教材③ ◆ワークシート②
○掲示用教材④、⑤を参考に、これから期待される水素エネルギーについて伝える。	◇利用が始まりつつある水素エネルギーの特長を伝えるとともに、FCバスの積極的な導入など東京都の取組について伝える。	◆掲示用教材④、⑤
○掲示用教材⑥を参考に、エネルギーを大切にするために、自分にできることについて考える。	◇イラストを参考に、自分にできる取組について考えさせる。	◆掲示用教材⑥ ◆ワークシート③
○気付いたことや感想を発表する。	◇生徒一人一人が地球環境保全につながる生活の必要性に気付くよう、活動を振り返らせる。	

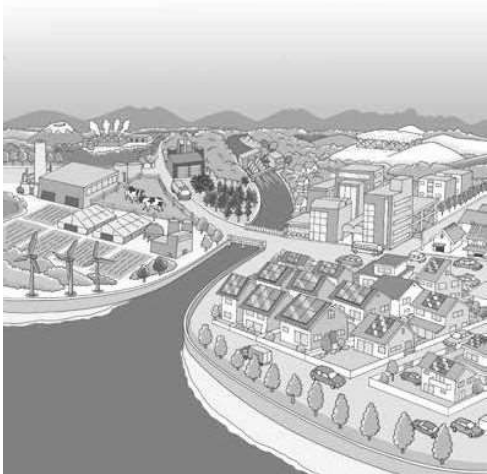
かんきょう
環境問題について調べて、自分にできることを実行しよう。
日本の再生可能エネルギー、未来への可能性

年組名前

1 日本のエネルギー自給率について調べてみよう。



2 再生可能エネルギーの特長について考えてみよう。



3 自分にできる取組を考えよう。

